

- 人称代名詞
- 「私は学生です」

d、g、j、z（男性にやや多）
 wayaya、kululu（女性にやや多、女性どうしで重なる）
 ある程度の性差

自然言語そのものに対するイメージの議論：印欧（インド＝ヨーロッパ）語族
 （英語に感じる明快な律動、フランス語に感じる美的センス・上品さ・かわいらしさ、ドイツ語に感じるいかめしさ）

（男性の会話における出現度：very > so、女性の会話における出現度：so > very）
 日本語で言えば、濁音、破裂音、摩擦音の出現度が性差に該当すると考えられる。
 LGBTと言語の響きの関係についての議論はこれから

冠詞がない言語

文型はSV0、SOVが多。

「私は～です」（コピュラ文）の時はbe動詞にあたる動詞なし。「私、学生」
 ：東アジア圏の言語ではよく見られる。

音がない言語（○△▽内に1、2、3） 例：非常口のマークなどのピクトグラム

アフリカ原住民言語に似た言語：セム＝ハム（アフロ・アジア）語族以外

アイヌ（人間）語に似た言語

太平洋島嶼部・ミクロネシアの言語、トンガ語、フィジー語に似た言語

あまり口を開けず、楽に話せる言語

自然発生後に長い時代を経て変化した時点の言語（人称代名詞が不規則）
 ：英語の「I、my、me」、「go、went、gone」

カタカナ書きの言語（アイヌ語への仮名の転用に類似）、サンスクリットに似た言語

一人称のほうが長い、二人称のほうが短い言語

「は」の意味：

「私は学生です」：「は」は「＝」（同値の宣言、コピュラ文）

「私は知っている」：「は」は「→」（動作主体の提示）

「象は鼻が長い」文

「私はウナギだ」文

「自然言語発生時には、人々（話者）はその使用単語が人称代名詞だ、be 動詞だ、
などとは考えていない」